

編集発行責任者 吉田 和彦

〒125-8506 東京都葛飾区青戸6-41-2

TEL:03-3603-2111(代表)

URL:http://www.jikei.ac.jp/hospital/katsushika/

INDEX

01. 診療科紹介
02. 部署紹介 放射線部、認定看護師の取り組み
03. 連携病院のご紹介
04. フロアコンサート、公開セミナーを開催、平成30年度初期研修医のご紹介

診療科紹介



消化器病学会指導医3名、肝臓学会指導医1名、消化管学会指導医3名のもと、消化器、肝臓、消化管の専門医を持った医師を中心に診断、治療にあたっています。C型慢性肝炎、B型慢性肝炎の治療は外来中心で行い、自己免疫性肝炎・原発性胆汁性肝硬変については、先代前の戸田剛太郎元教授が専門としており、当院でも診断治療に積極的に取り組んでいます。炎症性腸疾患(クローン病、潰瘍性大腸炎)に対しては、看護師、栄養士、薬剤師、臨床工学技士、ソーシャルワーカーらによるチーム医療を行っており、免疫調節薬(アザチオプリン、タクロリムス、サイクロスポリン)、白血球除去療法(GCAP, LCAP)や抗TNF α 抗体(レミケード[®]、ヒュミラ[®]、シンボニー[®])、抗ヒトIL-12/23p40モノクローナル抗体(ステララ[®])などの治療も積極的に取り入れ、入院の必要となる状態の患者さんが非常に少なくなっています。近年総胆管結石、化膿性胆管炎の患者さんが急激に増えてきており、ERCPによるドレナージ、碎石についても積極的に取り組んでいます。膵腫瘍については超音波内視鏡、MRIによる総合的診断を行っています。

消化器・
肝臓内科

穂苅 診療部長

実績

【平成29年1月～12月実績】 ●外来患者数26,926名 ●入院患者数13,184名

大腸ポリペクトミー(ESD含む)567例(内ESD15例)、胆道ステント留置…105例、肝癌TACE…86例、内視鏡的消化管止血術…86例、胆道碎石…55例、胃ESD…47例、食道静脈瘤結紮術・硬化療法…29例、肝癌RFA…17例、食道ESD…6例、体外衝撃波膵石破砕術…3例

整形外科では、四肢や脊椎の疾患・外傷を治療しています。当科では、大学病院、そして地域の基幹病院としての機能を果たすために、精密検査や手術が必要な患者様を多く診療しています。特に足、脊椎、膝については専門医が診療にあたっております。足の手術については、外反母趾、扁平足、変形性足関節症、アキレス腱再建術などが多く、距骨壊死に対する人工距骨置換術、骨折後の変形癒合など、治療が難しい患者様についても取り組んでおります。脊椎では、腰部脊柱管狭窄症、頸椎症性脊髄症、膝では人工膝関節置換術、前十字靭帯再建術、半月板手術などの経験が豊富です。その他の疾患については、新橋の慈恵医大附属病院や他の分院とも連携して診療いたします。また、外傷には広く対応しており、迅速な対応を心がけております。研究面では、足の疾患、特に扁平足や外反母趾、強剛母趾などの成因について詳しく研究しており、それに基づいて新しい治療法を開発しています。また、脊椎、膝についても基礎的な研究に取り組んでおります。

整形外科
窪田誠 診療部長

診療実績

【平成29年度】 ●新患数 2,635人/年

●手術 総数654件;脊椎104件,上肢83件,下肢149件,外傷220件など

部署紹介 放射線部

葛飾医療センターは、慈恵大学病院の中でも一番小さな規模の施設です。

しかし、放射線関連装置は最新かつ高性能な装置が導入されています。

一般撮影装置（胸部や腹部、骨の写真撮影）は3台、X線透視装置（バリウムや内視鏡を使用）は2台、心臓（冠動脈）検査に対応する64列のCTが2台、磁力を利用したMRIは1.5テスラ装置が2台、超音波装置は3台、マンモグラフィ、骨塩定量、ガンマカメラ、血管撮影装置は各1台ずつ、そして放射線治療装置は2年前より再開しています。

特に血管撮影装置は本年度後半に増設し2台体制となり、検査のみならず最先端の血管内治療に大活躍します。

これらの装置を駆使し、従来では見つけることのできなかった小さな病変、初期の病変をしっかりと当センターではキャッチして行きます。

地域の皆様に愛される放射線部を目指し、スタッフ一同日夜努力を重ねています。

放射線に関する質問にもお答えいたしますので、ご来院の際にはお気軽にお尋ねください。



櫻井技師長

認定看護師の取り組み

認知症者とその家族の良き理解者、看護実践の役割モデルとしての活動

● 認知症者の生活リズム障害

認知症者は、記憶障害や見当識障害などの認知記憶障害（中核症状）によって、情報を適切に収集し、認識し、行動するというプロセスの遂行が難しくなり、自ら生活日課を整える能力が衰えてきます。

認知症の進行によって、食事や排泄、更衣、清潔、身体の向きを変えることなど、24時間誰かの手を借りて生活するなか、認知症者の生活史を取り入れていくと、生活の潤いと広がりにつながります。

● 認知症者の尊厳を保持する日常生活支援の提供

拘縮の予防（生活の中で身体を動かす）、安楽な呼吸（体力に見合った活動）、食を楽しむ（少量でも好物を堪能する、香り彩りを楽しむ）、苦痛の緩和（姿勢への配慮）、清潔保持（入浴、整容、口腔ケア）、心地よい排泄（自然な排泄、タイミングの良い排泄）は、認知症者の尊厳を保持するケアとなります。（石田和代）



連携病院のご紹介

堀切中央病院 院長 鈴木 正行

当院は、一般病床50床、地域包括ケア病床8床、療養病床67床の計125床を有し、地域に根ざした医療を目指す病院です。外来は、一般内科、呼吸器・循環器・消化器・神経内科等内科系以外にも、整形外科、皮膚科、眼科を標榜しております。最近では、認知症診療にも力を入れ、診断治療から、周辺症状や介護に関する御相談も承っております。また、がん患者さんの緩和ケア、終末期医療に関しても積極的に取り組み、住み慣れた地域で生活・療養を続けたい患者様のお役にたてるよう、入院療養は勿論のこと、在宅療養にも力を入れております。当院併設の「しょうぶ訪問看護ステーション」をはじめとする他の訪看ステーションとも協力し、常勤医師全員で訪問診療も行っており、終末期の患者さんの在宅看取りも行っております。「2025年問題」が間近に迫り、葛飾区内での高齢化、認知症患者さんの増加が切実な問題となっておりますが、近隣の病院・診療所とも協力し合い、また、地域包括支援センターや介護保険の各種関連事業所とも手を携えて、地域の方々が安心して暮らせるまちづくりを目指して参ります。当院は今年で法人設立60周年を迎えますが、今後とも宜しくお願いたします。



かつしか内科リウマチクリニック 院長 金月 勇

こんにちは。かつしか内科リウマチクリニック院長の金月と申します。私は東京慈恵会医科大学で、20年間リウマチ膠原病疾患の診療に携わってまいりました。大学で診療していた時、「葛飾医療センターの近くでリウマチや膠原病を気軽に診てもらえるところはないか」という患者様からの声を頂いておりました。その声を受け、平成28年10月、京成青砥駅から徒歩数分の当地に内科・リウマチ科のクリニックを開院致しました。現在、約150名の関節リウマチの患者様が通院されています。また、約30名の患者様が生物学的製剤での治療を受けています。その他、全身性エリテマトーデス、シェーグレン症候群、皮膚筋炎、強皮症、ベーチェット病、強直性脊椎炎の患者様もいらっしゃいます。当院では、血液尿検査結果を当日確認し、それをもとに治療の効果や副作用、合併症を判断、対処できるようにしております。詳しい精査や入院加療が必要な場合は、慈恵医大葛飾医療センターや慈恵医大本院リウマチ・膠原病内科をはじめとする地域関連病院とも密に連携し、円滑に紹介させていただきます。関節の痛みや違和感、持続する発熱など、どんな事でもかまいませんので、お気軽にご相談下さい。



フロアコンサート の開催について



平 成30年5月26日(土)に、当医療センター1階のロビーにてフロアコンサートを開催しました。今回のフロアコンサートでは当医療センターの医師を中心としたメンバーによるピアノ5重奏をお楽しみ頂きました。曲目は、ドラマ「氷壁」の主題歌である「彼方の光」やディズニー映画「アナと雪の女王」のメドレーなど計5曲で、会場の皆さんからも好評を頂きました。その後、アンコール曲の「ふるさと」を会場の皆さんと熱唱し、閉会となりました。次回は平成30年12月15日(土)を予定しております。今後も、皆さんに「癒し」をお届けする企画を開催していく予定です。

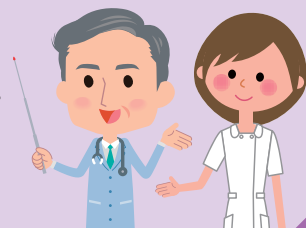
公開セミナーを開催しました。

平成30年6月9日(土)に当医療センター5階講堂にて、第49回葛飾医療センター公開セミナーが開催されました。

テーマは「糖尿病と目」

第1部:糖尿病・代謝・内分泌内科 診療部長 横田太持 から「網膜症はいつから始まるの?」
第2部:眼科 准診療医員 山口景子による

「知らないうちに進行する本当は怖い糖尿病性網膜症」の演題でお話を頂きました。参加者は88名で参加者からの活発な質問もあり、大変有意義な時間になったと考えています。今年度は第50回(9月8日)、第51回(平成31年2月9日)を予定しております。詳細が決まりましたら改めてご連絡させていただきます。



平成30年度初期研修医のご紹介

森 啓輔

地域の皆様に貢献できるよう頑張ります。宜しくお願いいたします。

國分 達

精一杯がんばります。よろしくおねがいします。

皆川 暁信

良き医師となるよう日々精進いたします。宜しくお願いいたします。

井瀧 亮

「雨垂れ石を穿つ」の精神で頑張ります。宜しくお願いします。

佐藤 怜

毎日が新鮮なことから大変ですが、日々精進できるようがんばります。

中原 倫子

一生懸命頑張りますので、よろしくおねがいいたします。

西川 慈子

患者様一人一人に寄り添い、愛ある医療を提供できるよう努めます。

小野寺 葉子

精一杯がんばりたいと思います。何卒よろしくおねがいいたします。

奥村 侑子

ご要望に応えられるようにながら頑張ります。お願い致します。

高塚 真規子

至らぬ点も多々ありますが、何卒宜しくお願い致します。



●後列左から 森 啓輔 / 國分 達 / 皆川 暁信 / 井瀧 亮 / 佐藤 怜

●向かって前列左から 中原 倫子 / 西川 慈子 / 小野寺 葉子 / 奥村 侑子 / 高塚 真規子